

うまがみ 馬神ため池

み
水

と
土

り
里

ウ
オ
ー
ク

馬神ため池

西村山郡朝日町大谷おおやに位置する馬神ため池は、かんがい用ため池として昭和24年に完成し、主に大谷地区南部を潤しているが、完成するまでには幾多の困難があった。

昭和初期、大谷では主産業だった生糸が暴落したことから開田計画が立てられ、用水確保のため昭和13年に大谷川をせき止め、ため池建設に着手した。戦争の影響による資材の不足、昭和19年夏に発生した豪雨による堤体の流失などの大きな困難に見舞われたが、村民一丸となって乗り越え、完成に漕ぎつけた。現在は朝日町土地改良区により管理が行われ、周辺にある10個ほどのため池と合わせて大谷地区内の約150haの水田を潤している。

ため池百選『馬神ため池と大谷の郷』

馬神ため池は平成22年には農林水産省より「馬神ため池と大谷の郷」の名称でため池百選に選定されている。名称に「大谷の郷」が含まれていることからわかるとおり、ため池・農地・農村が調和した景観や、ヒメサユリや蓮の花、山菜など多様な植物が自生する豊かな農村環境を形成していることが、選定を後押ししたと思われる。地域の小学生を対象とした「ドキドキ探検隊」による活動の一環としてカヌー体験なども実施されており、地域の人々から親しまれている。



名前の由来とは？

「馬神ため池」の名前は、かつて大谷川のほとりで祀られていた「馬神様」が由来とされている。

ため池の造成によって沈むことになったため、現在は別の場所に移転再建されている。

同所には「馬頭観世音菩薩」が祀られており、

「五百川三十三

観音」の第十五

番札所となつて

いる。



ため池百選とは？

農地を潤す水源・地域活性化などため池の有する多様な役割と保全の必要性を知ってもらうことを目的に農林水産省が選定。

山形県では朝日町「馬神ため池」と大谷の郷のほか、鶴岡市「大山上池・下池」、尾花沢市「徳良湖」、山辺町「玉虫沼」が選定されている。

大谷の景観・受け継ぐ文化



大谷のハス田

大谷地区の秋葉山登り口付近にあるハス田。耕作放棄された農地を活用し、景観を良くしようと平成 20 年に地区住民の手によって整備が行われた。例年 7 月頃に見ごろを迎える。



角田流大谷獅子踊

大谷地区に古くから伝わる獅子踊り。牡獅子、牝獅子、友獅子の一人立 3 匹獅子と太鼓によって構成される。現在は送り盆（8 月 15 日）と風神祭にて踊られる。県の無形民俗文化財にも指定されている。



大谷風神祭

大谷地区にて 260 年以上前から受け継がれている祭り。風水害を鎮め、五穀豊穡を祈願したことが始まり。毎年 8 月 31 日に開催され子供から大人まで多くの人が祭りに参加する。祭りでは花火の打ち上げも行われる。